

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2024年 8月 日(2024/08/ DD)	
ふりがな 氏名 / Name	学生番号/ Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	人間社会科学研究科博士課程後期 School/Graduate School 2年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学 Host University	チュービンゲン (国名/Country: ドイツ)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	古典考古学科 (Klassische Archäologie)
在籍身分 Status at Host University	交換留学生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2023年 9月 1日 ~ 2024年 7月 31日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	私の専門である古代エジプト学の本場としてイギリス・フランス・ドイツの3か国が挙げられる。当初は英語圏であるイギリスを検討していたが、指導教官の勧めやゼミの先輩が正規生として在籍されていること、広島大学で知り合ったドイツ人の友人が現地にいることが決め手となり、最終的にはドイツのチュービンゲン大学に応募した。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	最初にチュービンゲン留学を勧められたのがB4のとき(大学院試験合格直後)だったため、親とも相談し、M2(2021年)での留学に向けて準備を始めた。しかし、進学後にコロナ禍の影響で留学が不可能になり、D進して留学することにした。そのため、4年ほど準備に時間をかけることができた。
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったです) Preparation Completed Prior to Study Abroad	留学までに独検2級を取得し、Goethe-Institutのドイツ語講座をA2.2まで受講した。また、現地に行くまでにやらなければならないこと、現地に行ってからでないとやることができない手続き等を調べてリスト化した。特に、外国人がドイツに滞在するには滞在期間分の生活費があることを証明するために現地で銀行口座開設後、ドイツ大使館が指定する金額を両親に送金してもらう必要があったため、日本の銀行へ説明に行ったり、滞在費用をアルバイト等で貯金したりした。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : 学生ビザ ビザ申請先 / Location of Visa Application : Ausländeramt (外国人局) 提出書類 / Required Documents : 銀行口座の預金残高証明書、在学証明書、ドイツの住所、ドイツの保険証、パスポート、パスポート用の写真 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 予約日 : 9月中旬→申請日 : 10月26日→受取日 : 1月11日
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	ドイツに引っ越しして2週間以内に住民登録を行う必要がある。ビザ申請はその後。住民登録はBürgeramtに、ビザはAusländeramtに予約を取る必要があるが、予約を取りにくないので早めに行動する必要がある。
出国年月日/ Date of Departure	2023年 8月 31日 (2023/08/31)

経路（往路） / Route (Outward)	松山空港→羽田空港→フランクフルト空港		
現地での出迎え Pick-up Service	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff) • <input checked="" type="checkbox"/> その他/Others (友人)		
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No	有の場合 期間/Period : <u>2023年10月9日</u> - <u>2023年10月21日</u> (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation ウエルカムイベント、コース内容の説明、サポート&サービスの説明等	
帰国年月日 / Date of Return	2024年 8月 1日 (2024/08/01)		
経路（復路） / Route (Return)	フランクフルト空港→羽田空港→松山空港		

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	約 220 万 (生活費) + 約 50 万 (渡航費) + 約 10 万 (海外旅行保険)		円/yen
		内訳 Details		
	渡航費 (往復) / Flight Ticket (Round Trip)	約 50 万 (片道ずつ購入)		円/yen
	ビザ申請手数料 / Visa Application Charge		約 1 万 6 千	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge		0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance		約 10 万	円/yen
	教材費 (授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)		約 5 千	円/yen
	宿舎費 (住居費) / Accommodation Fee		約 56 万 (光熱費込み、11か月分)	円/yen
	光熱費 / Utility Cost			円/yen
	食費 / Meal Cost		約 50 万	円/yen
	通信費 (インターネット・携帯) / Internet, Phone		約 1 万 4 千	円/yen
	交通費 (宿舎-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		約 4 万 3 千	円/yen
	交際費 / Social Expenses			円/yen
	その他 / Others (健康保険料) (旅行 費) (学期登録にかかる費用) (雑費)		約 23 万 約 35 万 約 3 万 約 50 万	円/yen 円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について (カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	古代エジプト学科の授業を週に 4 (冬学期) • 5 (夏学期) コマ受講。各学期 1 コマは講座形式 • 45 分授業で、その他はゼミナール形式 • 90 分授業。ゼミナール形式の授業では主に古代エジプト語のテキスト読解を行った。また、「外国語としてのドイツ語 (DaF)」というプログラムが提供しているドイツ語のクラスを週に 3 (冬学期) • 1 (夏学期) コマ受講。これはどれも 90 分授業であった。授業数はすべて 15 回である。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input type="checkbox"/> 有/Yes <input checked="" type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス (留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	私は「1年しかいないのだから、古代エジプト学科の授業はほぼすべて履修しよう」と考えた結果、日々夜中まで予習に追われる事が多々あり、しつかり身体を休めることができない事が多々ありました。現地生にも「全部合わせて週に 8 コマ履修は多すぎる」と心配された。私は何とかやりきったが、自分のキャパシティをよく考えて履修を組むことをお勧めする。

日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦 (ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など)/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	私が受講したクラスはふたつ（古代エジプト学科のクラス+英語のクラス）を除いてどれもドイツ語で開講されるものだった。正直に言うと、私のドイツ語レベルだと、特に古代エジプト学科の先生方の話していることが理解できること、質問をされても答えられないことが多かった。ただ、本当に少人数のクラス（2~5人）であり留学生は私しかいなかったため、他の学生が助けてくれた。また、先生方もとても親切で、英語で質問することを許してくださいました。
--	--

5. 生活等について / Lifestyle			
(1) 留学先の住居について / Accommodation			
住居の種類 Type of Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input type="checkbox"/> その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 約 11 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (人/People) <input checked="" type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input type="checkbox"/> ガス/ Gas <input checked="" type="checkbox"/> 水道/ Water <input checked="" type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input checked="" type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input checked="" type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input checked="" type="checkbox"/> 台所/ Kitchen <input type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room <input type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input checked="" type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input type="checkbox"/> その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month 300€	(現地通貨/ local currency)	約/approximately 約 5 万円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	チュービンゲンは住宅事情がかなりシビアで、シャワー・トイレ完備の部屋を借りられることはほとんどない。そのため、大抵はシャワー室・トイレ・キッチン共用の寮に配属されることになるが、私自身も私の友人も本当に多くのトラブルに巻き込まれて、留学で一番のストレス源が寮関係のことだった。例えば部屋の荷物を盗まれた、共用部分の掃除がされていない、ごみが正しく捨てられていない（ごみ捨ての規則が厳しい）、騒音がひどい、大麻（ドイツでは合法）の匂いがひどいという苦情をよく聞いた。フラットメイトがどんな人がは運次第なので、自分のすべきことを淡々とするのが良いと思われる。		
(2) 医療について / Medical Care			
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input checked="" type="checkbox"/> その他 / Others (Techniker Krankenkasse)		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 1千万 円 / yen, 入院 1 日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()		
留学前後での予防接種の必要な有無 Immunization Requirement	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : 医療機関名 / Location of Immunization : <input checked="" type="checkbox"/> 無 / No		
留学先国の医療事情（日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)	基本的に予約を取るのが難しい。まずはPraxisと呼ばれる診療所を受診することになるが、特に婦人科は新規患者を受け付けていない、受け付けていても予約が取れるのは数か月後、というのが当たり前である。風邪を引いたらドラッグストアやスーパーに売られているハーブティーを飲んで温かくして寝る、というのがドイツ人の常識らしいので、よっぽどのことがない限り受診することはないと思われる。また、街のいたるところに薬剤師が常駐する薬局 (Apotheke) があり、処方箋がなくても症状に合った薬を購入することができる。		

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	上述の通り、病院にかかること自体が難しいので、常に健康管理に気を付けるべきである。私自身はクリスマスマーケットに行った後、1週間風邪で寝込んだが年末だったこともあり、病院は開いていなかった。また、ドイツは日本と比べて外のトイレが少なかったり、使用料が必要だったりするうえ、汚いところも多い。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
<ul style="list-style-type: none"> 語学の勉強会を装った宗教勧誘を受けたことがある。 ホームレスが多く、「お金くれ」と頻繁に声をかけられる。特にイベントがあると、ホームレスも集まってくる。 基本的に荷物からは目を離さない。人を見た目で判断してはいけないとは言うが、あまりきれいではない格好をしている人から声をかけられても反応しないのが一番である。 	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
ドイツの料理はとにかく脂っこく、量が多いので、慣れないうちは胃もたれや腹痛を起こすこともある。また、町に小さなアジアスーパーもあるが、日本食は少なく、価格も高いので、普段自炊しない人は慣れるまで大変だと思う。ただ、インビス (Imbiss) という軽食屋さんがそこかしこにあり、1,000 円程度で十分な量のケバブや中華料理を食べることができる。パン屋やカフェもたくさんあり、非常に安価なパン（約 100~300 円）やケーキが売られている。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
チュービンゲンはドイツでも南のほうに位置するので比較的暖かい。夏は 30 度前後で、日本と比べて湿度が低いと言われるがそれでも結構暑く感じる。そして基本的に冷房設備が整っていないので、熱中症気味になることもある。冬はそこまで寒くないと感じたが、氷点下になることもしばしばだった。特に道が凍結することが多く、滑って転んでいる人をよく見かけた。冬物は私は日本から送ってもらったもので何とかしたが、ドイツでドイツの冬仕様のものを買う人もいた。暖房設備はあるが、そんなに暖かいとは思わなかった。	
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
チュービンゲン大学はキャンパスのように一か所にいくつもの施設があるのではなく、町全体に大学施設が点在しており、授業の組み方によっては移動が大変になる。例えば私の場合、エジプト学科の授業は旧市街地の丘の上に建つホーエンチュービンゲン城で行われ、その後、ドイツ語の授業を受けるために旧市街地を抜けて Wilhelm 通りにある外国語センターに行かなければならなかった。授業と授業の間に 30 分あったが、昼ごはんを買っていくといつもドイツ語の教室にたどり着くのが 5 分前といった感じだった。インターネット環境は大学施設では Eduroam が使用できた。スーパー や カフェなどでは無料 wifi を使える場所も多かった。	
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
<ul style="list-style-type: none"> 外国語センター (FSZ) 管轄のタンデムパートナーのマッチングサイトに登録する。チュービンゲン大学には日本学科があるため日本語 – ドイツ語のタンデムパートナーは比較的すぐ見つかるが、日本語 – 英語のパートナーはあまりいない。 日本学科には日本人の先生が 2 人いらっしゃり、各学期に 1 回日本人懇親会を主催してくださったり、日本学科の授業のお手伝いをお願いされたりする。そういう日本関係のイベントに参加して、知り合いの輪を広げることで別の方を紹介してもらえることもある。 自分の所属学科のイベント（例えばクリスマス会や夏祭り等）に短時間でもいいから参加してみる。 寮によっては自治会主催のイベントがある。私の寮ではハロウィンパーティーやスキー会（冬休み）、漕ぎボート (Stocherkahn) に乗る会（夏休み直前）等あった。 	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
<ul style="list-style-type: none"> 嫌なことは嫌だとはっきり断っても良い。むしろ曖昧な態度のほうが嫌がられる。 ドイツ人は議論が好きで、「○○についてどう思う？」「日本では△△はどんな感じなの？」とすぐ質問してくる。何も答えないのは非常に失礼なので、一言でもいいから返事をするのが大事。 目を合わせないで話を聞くのは少し失礼な感じがする。額きすぎると NG。（実際にドイツ語の先生に「日本人はなぜあんなに額くのか？とても奇妙に感じる。」と面と向かって言われた。） チュービンゲンは留学生が多く集まる国際色豊かな街で比較的穏やかで優しい人も多いが、時々、にこりともしない店員から接客されることもある。しかし、店員が不機嫌であるとかこちらが失礼な態度を取っているとかいうわけではなく、それが一般的な接客態度なので気に病む必要はない。 	

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?
○ハンディファン（冷房設備が整っておらず、夏場の日中は窓を開けていてもかなり暑い。）
○洗濯ネット（ドイツの洗濯機は結構激しく回転するので衣服が傷みやすい。洗濯ネットはあまり売っていないので、日本で購入して持っていくのが良い。）
○小さいピンチハンガー（ドイツでは外干しきれいなことが多い、乾燥機で乾かすか、部屋で乾かすかの2択になる。靴下や下着などの小さいものを干すことができるピンチハンガーがとても便利だった。）
○プラグ変換器（Cタイプの変換機が必要。私は部屋用と持ち歩き用に2つ持つて行った。）
○歯ブラシ（ドイツの歯ブラシは結構大きい。）
○生理用品（ドイツの生理用品は個包装ではないものが多く、持ち歩きに困った。また、ナプキンよりもタンポンや生理用カップがドイツでは主流なので、使い慣れているものを持っていくか、日本から郵送してもらうとよい。）
(10) その他生活等に関する参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad
・ドイツはサマータイムを導入しており、特に夏は夜10時近くまで明るいので生活リズムが崩れがちになる。一方で、10月末から2月末ぐらいまでは曇りがちで日照時間がかなり短くなるため、体調・メンタルに不調をきたすことがある。ドラッグストアで安くビタミンD剤を買うことができるため、体調を整えるために摂取することをお勧めする。（ドイツの連邦保健相によって冬季のビタミンD欠乏症とその予防法の特集サイトが作成されている。）

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2027 年 / year 3月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2025年 / year 3月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input checked="" type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason: 博士論文執筆のため)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	博士論文執筆準備の段階
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad		
書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
ドイツ連邦共和国大使館・総領事館	https://japan.diplo.de/ja-ja	ドイツ大使館の指示(特にビザ情報)は必ず確認

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

留学は決して楽しいだけではありません。日本では考えられないようなトラブルに自分ひとりで対応しなければならない場面もあり、大げさだと思うかもしれませんが常に気を張っていなければならない生活が待ち受けています。しかし、留学で得られた経験はどれも素晴らしいもので、自分を学業の面だけではなく精神的にも成長させてくれたと私は確信しています。今回の留学は、日本でただ生活しているだけでは味わうことのできない多様な価値観を目の当たりにし、自分の人生をどう生きるべきなのか、とよく考えるきっかけになりました。自分の殻を破りたいけど、なんとなく躊躇している人、自分の現状に対して何らかのもやもやがある人にこそ、チュービンゲン大学への留学をおすすめします。

9. 自由記述（日本語・1,200字程度）/ Feedback (English about 600 words)

大学入学当初からいつかは留学に行きたいとは思っていたがなかなか実行に移すことができず、ようやく博士課程後期になって留学することができた。留学直前はかなりナイーブになってしまったが、1年の留学は私にとって勉学面でも精神面でも成長できる貴重な経験となったと思う。留学期間中、もっとも印象に残った出来事として、オリエンテーション時の教授の発言が挙げられる。10月半ばに行われたオリエンテーションにはエジプト学科に入学したばかりの1年生も多く参加しており、当然ヒエログリフ（古代エジプトの象形文字）を読めない学生もいたのだが、その教授は「君たちはどこに入学したと思っているんだ？ チュービンゲン大学のエジプト学科はドイツ最高峰のエジプト学研究所なんだ。なぜヒエログリフを勉強してこないんだ」と強い語氣で詰め寄り始めたのだ。正直なところ、私はなんてところに来てしまったんだ、と呆然としてしまったが、今思えばこの出来事があったからこそ、「私は広島大学の代表として留学に来ているのだから、ふかいない行動を取って先生方を落胆させてはいけない、受け入れたことが間違いだったと思われてはいけない」と、エジプト学科の授業と予習に真摯に取り組むことができたのだと思う。実際どの授業もハイレベルで、冬学期が始まる前の1か月間大学の語学コースに参加したとはいえ、ドイツ語がまるで知らない私にとって周りについていくのは容易なことではなかったが、最高峰の大学で勉強させてもらっていると思うと何故か不思議と力が湧いてきてもっとやろう、やりたい！ 思うことができた。

成長した点としては、当然エジプト学の知識やエジプト語の読解能力の向上が挙げられる。特に読解のクラスは日本のエジプト語の授業に比べて格段に厳しかったが、帰国前最後の授業で「あなたのエジプト語の力は確かなもので、文法の分析もきちんとできていますよ」と評価していただけた。また語学力も少なからず磨かれた。ドイツ人やドイツ語のクラスで知り合った外国人の友人とはなるべくドイツ語で会話し、英語のクラスにも参加して英語の会話力も訓練した。私は人見知りで初対面の人とはあまり話すことができないのだが、チュービンゲンに住む人はフレンドリーな人が多く、顔見知りなら絶対に挨拶をするし、少しでも時間があれば世間話や議論をするので、つたないドイツ語でも会話をするようにした。最終的にはバス停で現地のおばあさんと少し話ができるまでに成長できた。

今回の留学で思ったのは、やはり母語で勉強ができる環境というのは非常に素晴らしいことなのだということだ。アフリカやアジアからの留学生のなかには「英語ができないとハイレベルな仕事には就けない」と言う人もおり、確かに学会報告や論文執筆において世界を相手とするならば英語は重要だろう。しかし、母語で自分の興味のある分野を勉強できるということも自国の高等教育を享受できるという点で重要であるし、その点で言えば少なくとも日本のエジプト学はまだまだ十分とは言えない。私はこれからも研鑽を積み、日本のエジプト学に寄与する人材となりたい。



